

環境活動レポート

2009年度



大場機工株式会社

2009年6月15日発行

1. 環境方針



基本理念

『環境活動が、地球環境に関わる影響を認識し、全従業員が環境保全および環境汚染防止に努め、よりよい企業活動を行う』

行動方針

大場機工株式会社は、当社の基本理念『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、よりよい企業活動を行う』に基き、環境との共生・調和、環境への取組みを課題とし、自ら責任を持ち、全従業員一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業活動に取組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

大場機工株式会社は、ステンレスパイプおよび光関連製品の製造・販売を行う事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境マネジメントシステムを構築することにより、全従業員で環境保全活動に取り組みます。

1. 全従業員が環境保全活動に取組むよう、環境教育を徹底します。
 2. 環境関連法規制及び当社が同意した協定等は確実に遵守します。
 3. 4R運動を推進し、省資源・廃棄物の低減に努めます。
 4. 事業活動において使用する資源・設備・販売製品等は、環境に考慮したグリーン調達を推進します。
 5. 製品の製造・容器包装・廃棄・リサイクルを通じて、環境に配慮します。
 6. 水資源使用量の削減と適正使用に努めます。
- 以上の環境方針は、全従業員に周知させるとともに環境活動レポートを社外に公開します。

平成22年6月14日
大場機工株式会社
代表取締役

大場正晴

4Rとは

Refuse :使わない、拒絶する Reduce :減らす

Reuse :再使用する Recycle :再資源化する

4つの言葉の頭文字から取ったものです。

2. 会社概要



事業所名

大場機工株式会社

代表取締役

大場正晴

環境管理責任者

佐野 徹

設立

昭和46年5月14日

資本金

1,000万円

社員数

90名

所在地

本社 / 工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44-8

TEL :0544-27-6066 FAX :0544-27-6214

敷地 :7,000?

建物 :3,500?

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1

TEL :0544-27-6066 FAX :0544-27-6214

敷地 :10,000?

建物 :2,500?

沿革

昭和46年 大場機工を創業

昭和56年 大場機工株式会社に改組

昭和61年 パイプ引抜き加工を始める

平成 4年 光事業部を新設

平成18年 エコアクション21認証取得

平成19年 本社敷地内に北工場を新設

平成20年 静岡県富士宮市羽鮒にて第2工場稼動

平成22年 ISO9001 認証取得



3. 事業概要



パイプ部門

精密ステンレスパイプ製造

異型パイプ製造

ハニカムパイプ製造

及び各種金属材料によるパイプ製造、切断、加工、アッセンブリー



光ファイバー部門

ファイバユニットOEM製造

ファイバースコープ製造

及び各種デバイス・トータルアッセンブリー



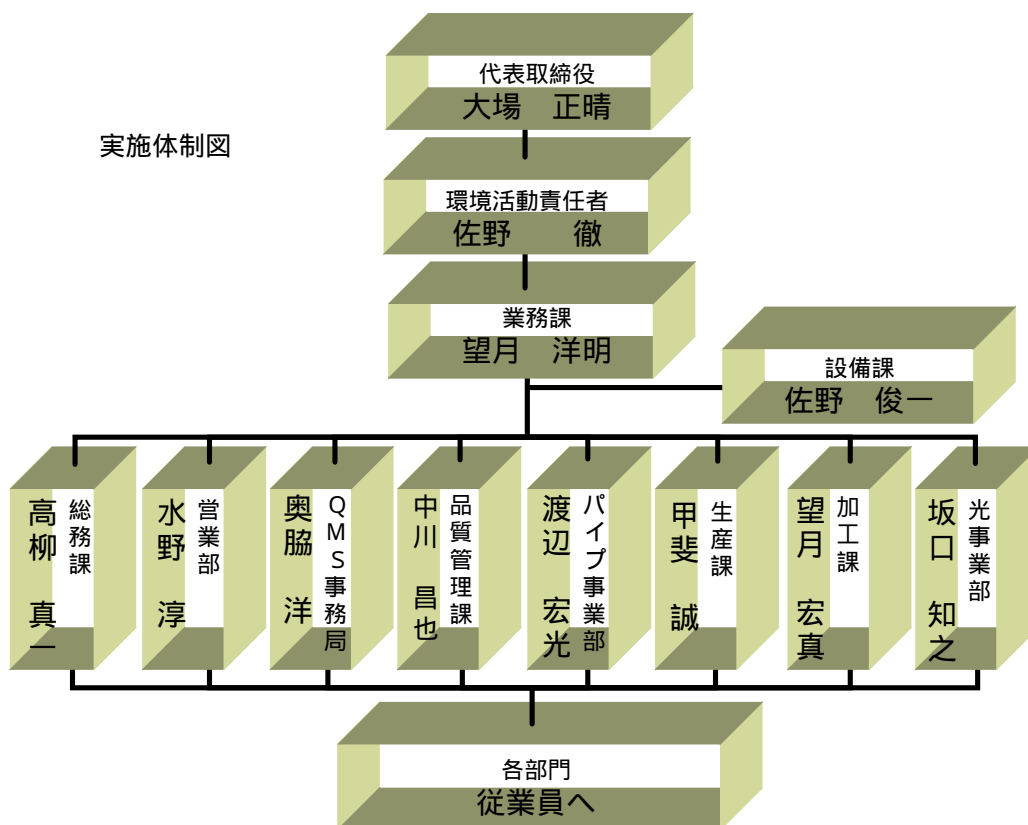
4. 活動の経緯



今日の大量生産、大量消費、大量廃棄の中、私たちが地球に与える環境負荷は自然の再生能力の範囲を超え、温暖化やオゾン層の破壊などを招き、海面の上昇による陸地の水没を発生させています。今や環境保全は世界的な課題となっており、環境活動の主体である企業は、環境保全に真剣に取り組んでいかないと、社会からの支持を得られなくなってきました。

当社は以前より環境問題に強く関心を持ち、多くの取組みを実施してきましたが、より効果的、効率的に環境への取組みを実施していく為に、エコアクション21で求められる環境マネジメントシステムの構築を目指し、平成18年度より本格的に活動を開始致しました。

実施体制図

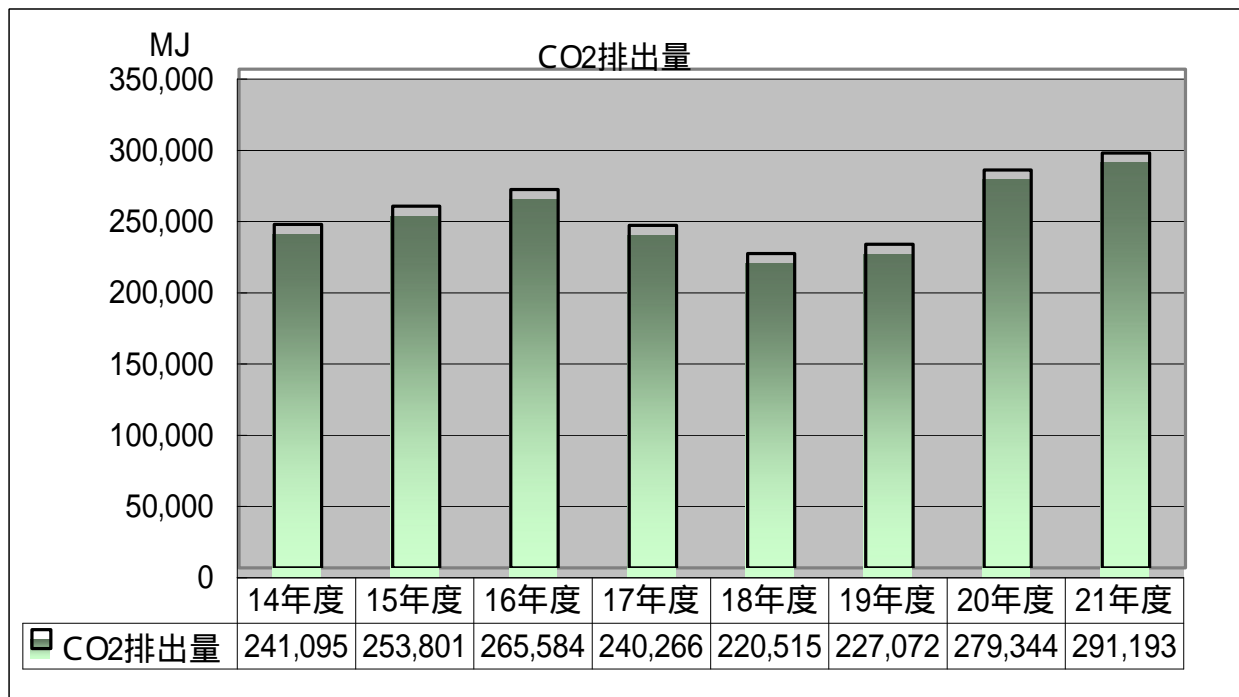


5. 環境目標とその実績



(1) 温室効果ガス排出量

購入電力量		ガス使用量		ガソリン購入量		灯油購入量	
年間目標	584,718 kWh	年間目標	532.1?	年間目標	5316.01 L	年間目標	12536.37 L
年間実績	674,888 kWh	年間実績	511.8?	年間実績	5496.89 L	年間実績	7585.00 L
目標差	+90,170 kWh	目標差	-20.3?	目標差	+180.88 L	目標差	-4951.37 L
目標対比	115.4%	目標対比	96.2%	目標対比	103.4%	目標対比	60.5%



不要照明の消灯を周知。



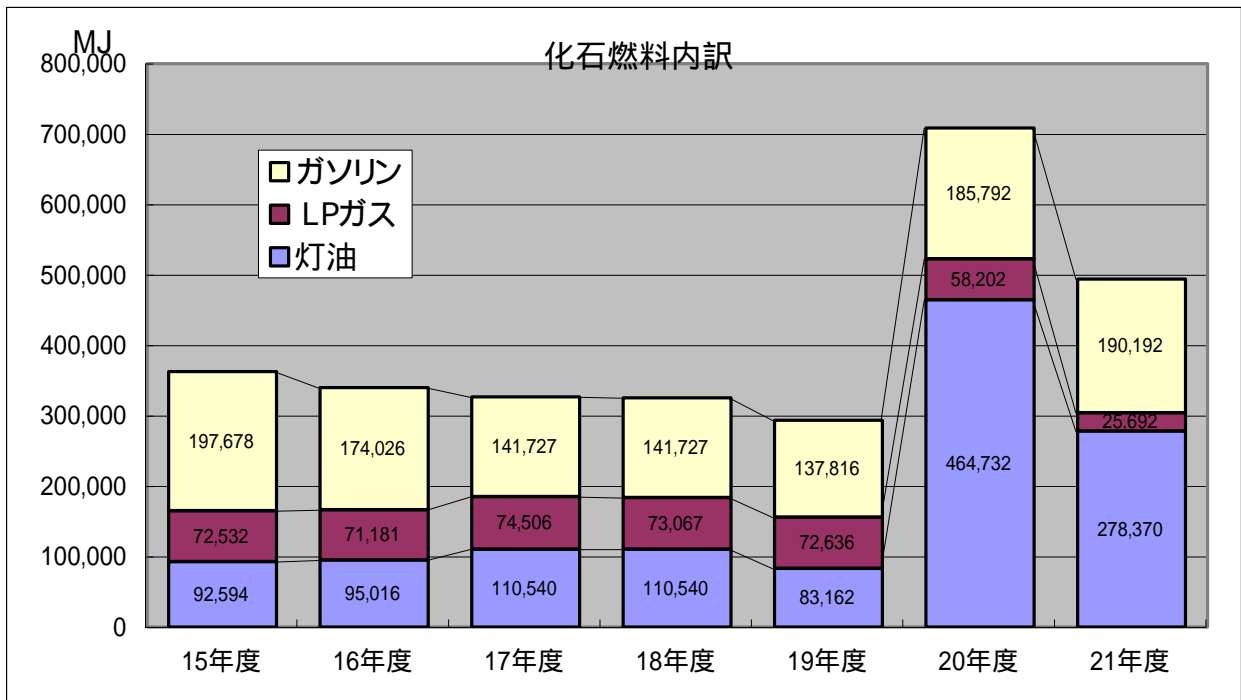
期間を決め便座保温機能の制限を実施。



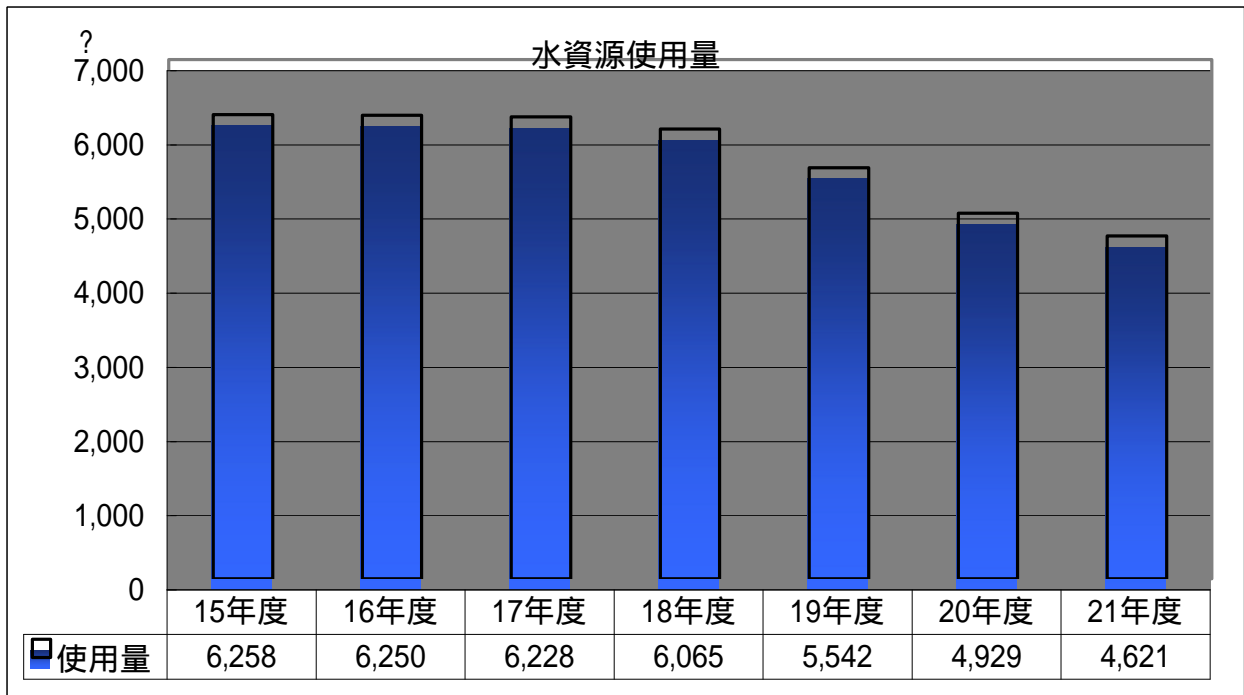
社用車の燃費管理。

新工場への設備導入により 大幅に電力使用量が増えていることで、目標に対して+19986 kg-CO2という結果ですが、不要照明消灯の徹底や、節電に関する項目を増やし、取り組みを行っております。

目標	271207 kg-CO2
目標差	+19986 kg-CO2
目標対比	107.4%



② 水資源使用量



水道メーターの記録管理。

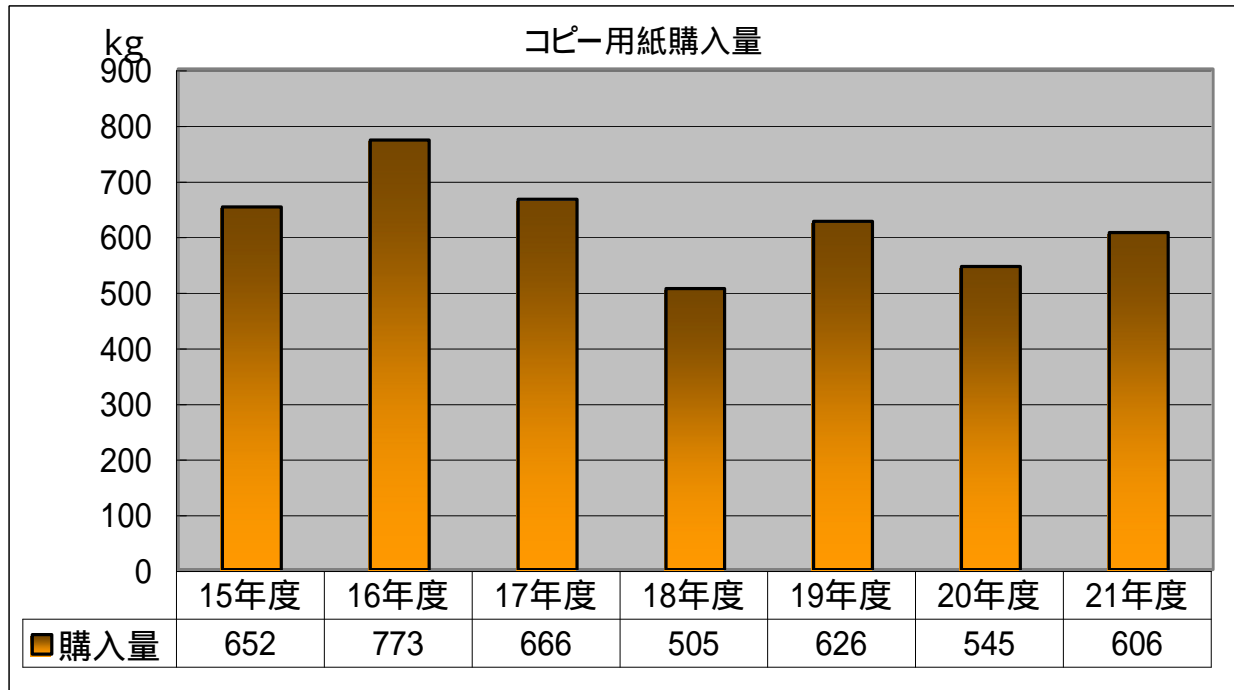


水洗時の水使用量の削減。

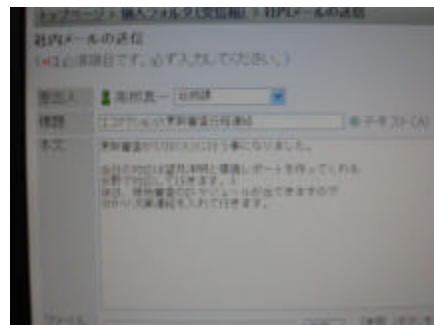
昨年に引続き達成ができております。
最近では、月ごとに水道メーターの記録を取り始め、更なる削減に役立っていきます。

目標	4785?
目標差	-164?
目標対比	96.6%

③)コピー用紙購入量



裏紙 両面印刷の徹底。



電子文書での社内回覧。

管理文書及び顧客への提出資料が増えたことにより、大幅な増加となっておりますが、今後も継続して裏紙使用、両面印刷の徹底を呼びかけ削減に取り組みます。

目標	128,477枚
目標差	+21,523枚
目標対比	116.8%

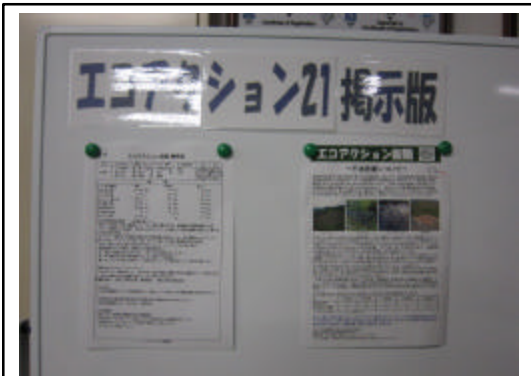
(4)その他取組み



H21年10月31日に植樹祭に参加をしました。
今回で2回目の参加となります。
今年も市の環境活動に積極的に参加をしていきます。



H21年9月28日に避難訓練を実施しました。
訓練では実際に消火器・消火栓を使用し、貴重な体験ができました。今後も従業員の防災意識の向上に努めます。



専用の掲示版を設置しました。
会議議事録・エコアクション新聞を掲示し
周知をしています。また、朝礼でも市の環
境活動への参加の呼び掛けをしています。



H22年5月24日にペットボトルキャップの回
収を行いました。スタートして1年が経過し
結果は10.45kgで4,377ヶ分に相当します。
キャップは、大富士小学校に引き取って頂
きました。今年も継続して行います。

6. 取組み内容と評価



推進計画	環境目標	施策	数値	評価	結果と今後の方向
二酸化炭素排出 量の削減 (購入電力量の 削減) -3.0%削減	購入電力量 -1.0%	不要照明消灯の徹底 ・エアコンの適正温度の徹底 ・ノー残業デーの実施 ・コンプレッサーの節約 ・エアコンフィルターのチェック 契約電力の見直し	15.40%	×	新工場への設備導入により、大 幅に電力使用量が増えている が、不要照明消灯の徹底や、節 電に関する項目を増やし、意識 向上が必要。
	ガス使用量 -5.0%	水での手洗いの慣行	3.80%		受注内容に左右される項目にな りますが、水での手洗いの習慣 化を継続します。
	ガソリン購入量 -1.0%	社用車の燃費管理 ・アイドリングストップ	3.40%	×	工場間の行き来が、増えたこと で、購入量への影響がありますが、 社用車の燃費管理を行うこと で、エコドライブへの意識づけを 行います。
水資源使用量の 削減	水資源使用量 -3.0%	節水の徹底 水道蛇口の漏水チェック	3.40%		昨年に引続き達成できておりま す。更なる削減を目標として取組 んでいきます。
廃棄物排出量の 削減 (コピー用紙購 入量の削減)	コピー用紙購 入量 -5.0%	両面印刷、裏紙使用の徹底 ・電子文書での保管	16.80%	×	管理文書の増加に伴い、使用量 が増えたが、今後も継続して裏紙 使用、両面印刷を徹底し、削減に 取組みます。
その他環境に 関する取組		・ゴミの分別の徹底 ・市の環境イベントの参加 ・ペットボトルキャップの回収 ・包装材の再利用の推進			市の環境イベントへの積極的 な参加を行っております。この先 社会的に取り組みを目標に活動 をしていきます。

平成21年度を通した取り組み結果は以上の通りでした。

第2工場への設備導入なども起因し、購入電力量が大幅に増加した結果となりましたが年間を通したデータ取得が出来ていないこともあり、引続きデータ収集を行うことで来年度以降の目標設定にも役立てていきます。

その他、目標達成できなかった項目に関しても更なる意識付けを呼び掛けることで、削減に向け取り組みを行っていきます。

7. 今年度以降の目標



H22年度以降の目標を下記に示します

項目	H22年度	H23年度	H24年度
購入電力量	1.50%	2.50%	3.00%
ガス使用量	3.00%	4.00%	5.00%
ガソリン購入量	2.00%	3.00%	4.00%
灯油購入量	0.00%	1.00%	2.00%
温室効果ガス排出量	1.80%	2.00%	2.50%
水資源使用量	3.00%	4.00%	5.00%
コピー用紙購入量	2.50%	3.00%	3.50%

上記項目は平成21年度対比での数値となります。上記目標値については継続的に見直し及び改善を行うものとしします。

また削減目標の設定は平成21年度から売上高を含めた目標数値設定から、前年度結果を毎年積み重ねる方式(前年度から～%削減)に変更しておりますが、EA21の活動を始める以前のH16年度実績との比較は随時行っております。

今年度目標は、第2工場の稼働による各項目への影響を確認する必要があります。

8. 環境関連法規等の遵守



当社に適用される関連法規の一覧になります。環境関連法規への遵守状況について、環境関連法規、条例、その他の規制に対する違反や訴訟は過去3年間ありませんでした。

No.	法令名	確認	確認日
1	水質汚濁防止法		2010年6月16日
2	浄化槽法		2010年6月16日
3	騒音規制法		2010年6月16日
4	振動規制法		2010年6月16日
5	廃棄物処理法		2010年6月16日
6	土壌汚染対策法		2010年6月16日
7	自動車リサイクル法		2010年6月16日
8	改正リサイクル法		2010年6月16日
9	家電リサイクル法		2010年6月16日
10	建設リサイクル法		2010年6月16日
11	大気汚染防止法		2010年6月16日

問合せ先

大場機工株式会社
〒418-0037
静岡県富士宮市安居山44の8
Tel:0544-27-6066 Fax:0544-27-6214
環境管理責任者:佐野 徹